

経営比較分析表／団体全体（令和4年度決算）

富山県 高岡市

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	60,000	中規模	1	16,436
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	94.7	3	15,700	自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・①経常収支比率及び⑤料金回収率は、供給水量に変動がない一方、動力費などの費用が増加したことで、依然として100%を下回る状況にある。令和5年度4月より料金改定を実施しており、経営基盤の強化を図っていく。令和5、6年度は経過措置としており、令和7年度から改定後料金となる。

・②利益積立金を取り崩して累積欠損金に充当したことにより、累積欠損金比率は0となっている。

・③流動比率は一年以内の短期債務に対して十分な支払能力がある。

・④企業債残高対給水収益比率は企業債残高がなく良好な状況である。

・⑥給水原価が供給単価を上回っているが、令和5年4月の料金改定によって経過措置の終わる令和7年度以降は給水原価が供給単価を下回る見込みである。

・⑦施設利用率や⑧契約率は、供給先事業者における水のリサイクル化などにより、水需要が減少しており、全国・類似団体平均を下回っている。

2. 老朽化の状況について

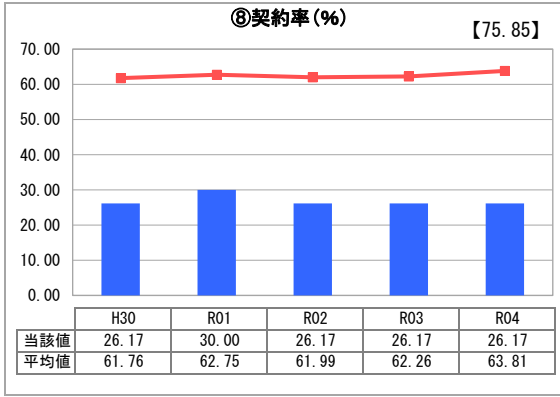
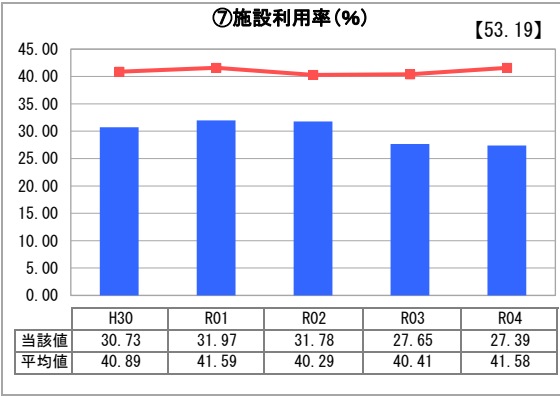
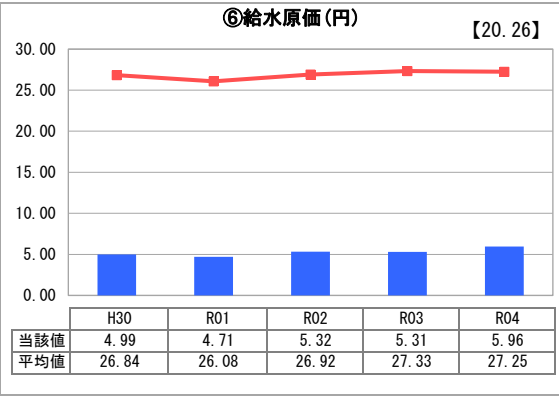
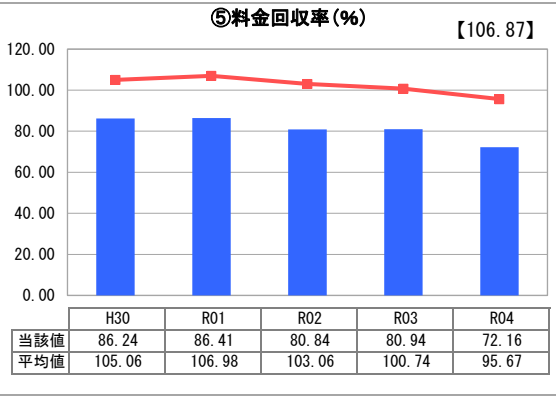
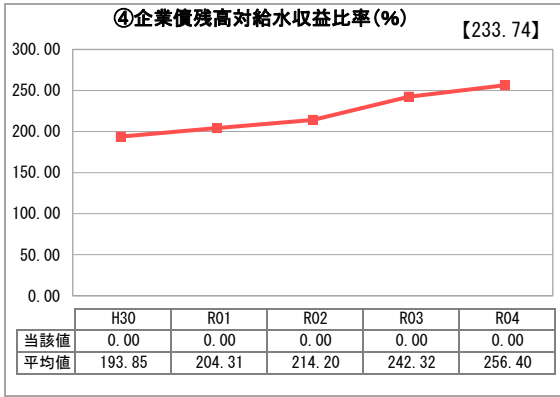
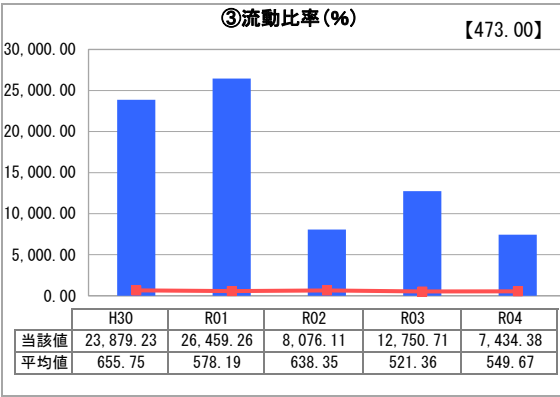
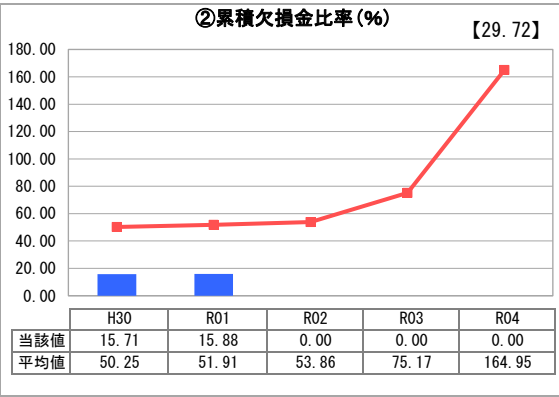
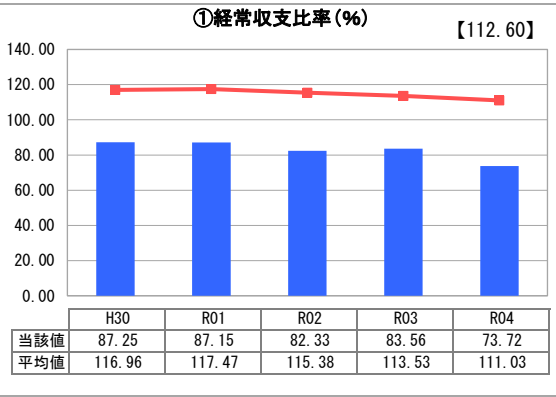
・①有形固定資産減価償却率は、年々上昇傾向で推移しており、施設の老朽化が進行していることを示している。

・②管路更新率は、法定耐用年数を超えた管路は存在するが、更新に至っていない。今後、事業運営の在り方を踏まえて検討していく必要がある。

全体総括

・経常収支比率や料金回収率が100%を下回っており、経営状況は健全であるとは言えない。収支不足については、利益積立金を取り崩し補填している状況である。令和5年度4月より料金の見直しを実施しており、経営基盤の強化を図っていくとともに、事業運営の在り方について検討していくことが必要である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

